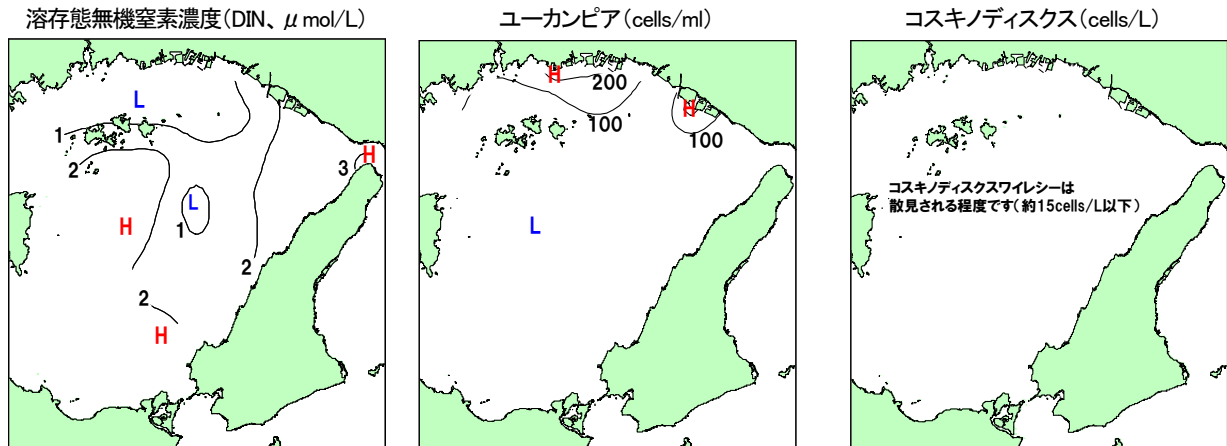


※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年2月27、28日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸では、前回の調査時に引き続きユーカンピアゾディアクスが多く出現していますので、今後の動向には十分にご注意下さい。同海域ではキートセロスやタラシオシラも比較的多く発生しています。コスキノディスクスワイレシーは散見される程度です。

播磨灘北部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、1μmol/Lを下回っている海域があります。家島諸島周辺及び東部海域のDIN濃度は、概ね2μmol/L以上を維持しています。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並か多いとされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 2月28日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や前線の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめと中頃は雨の降る日があるでしょう。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高くかなり高い日がある見込みです。

降水量は、平年並か平年より多いでしょう。

その他の情報

- ・岡山県の調査(2/15)では、日生沿岸でDIN(表層)が3.9~4.5μMでした。大型珪藻のコスキノディスクスは0~20cells/L、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位: μmol/L = μg-at/L = μM

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年3月15日頃に発行予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>